

平成29年度外国学校卒業学生特別選考小論文問題（第1種）

平成29年2月25日 9時30分～12時

（注意）解答は、A・Bそれぞれ解答用紙1枚で解答すること。

科 類	文 科 一 類
-----	---------

受験番号	G				
------	---	--	--	--	--

※上欄に、受験番号を記入しなさい。

A（日本語で解答する問題）

「給付型の奨学金は、低所得世帯の子供たちの進学に当たっての経済的負担を軽減し、進学機会の平等を図ることがそのような制度を設ける意義であることからすれば、その返還が免除されるための条件として、大学進学後の学修において一定の成績基準を満たすことを要求すべきではない」との意見がある。このような意見の当否について多角的に論じなさい。

B（日本語で解答する問題）

オーストラリアなどの国では、投票は国民の義務であり、棄権をすると罰金が科される可能性がある。日本においても、このように投票を義務づける制度を導入することについて、賛成論、反対論の双方を、それぞれ複数の論拠から論じなさい。

平成29年度外国学校卒業学生特別選考小論文問題（第2種）

平成29年2月25日 9時30分～12時

科 類

文 科 一 類

受験番号

G

（注意）解答は、A・Bそれぞれ解答用紙1枚で解答すること。

※上欄に、受験番号を記入しなさい。

A（日本語で解答する問題）

「給付型の奨学金は、低所得世帯の子供たちの進学に当たっての経済的負担を軽減し、進学機会の平等を図ることがそのような制度を設ける意義であることからすれば、その返還が免除されるための条件として、大学進学後の学修において一定の成績基準を満たすことを要求すべきではない」との意見がある。このような意見の当否について多角的に論じなさい。

B（出願時に選択した日本語以外の言語で解答する問題）

オーストラリアなどの国では、投票は国民の義務であり、棄権をすると罰金が科される可能性がある。日本においても、このように投票を義務づける制度を導入することについて、賛成論、反対論の双方を、それぞれ複数の論拠から論じなさい。